

平成 25 年度第 1 回

横浜市庁舎駐車場 指定管理者 選定評価委員会 議事録

【日時】 平成 25 年 11 月 26 日（火）10 時～11 時 45 分

【場所】 横浜市市民局区政支援部会議室

【参加者】 池田委員、植松委員、中村委員長、長谷川委員、山口委員（50 音順）

【議事内容】

1 はじめに 「資料 1」

※事務局から、「資料 1」に基づき説明

2 事務局あいさつ

※事務局からあいさつ

3 委員紹介 「資料 2」

※事務局から委員紹介

4 議題

（1）会議の非公開について「資料 1」

※事務局から、「資料 1」に基づき説明

（委員一同）異議なし

（委員長） 主旨説明を了承し、本委員会の会議は非公開とする。

（2）次期指定管理者公募及び選定作業の進め方について「資料 3」

※事務局から、「資料 3」に基づき説明

（委員長） どの項目からでも結構なので、発言をどうぞ。

（評価指標の考え方について）

（委員） 前回の指定管理者選定の際には、全応募者が新規の応募だったが、今回は、現指定管理者、前回に選に漏れた会社、全くの新規の会社、と色々でてくると思われるが、審査の方法は平等に審査するという事か。現指定管理者の評価について、どのように考えているか。

（事務局） 具体的な評価の仕方について、事務局で整理して委員会に提示する。

（委員） 他に先行している指定管理の事例がいくつもあるので、2 度目、3 度

目の指定管理者選定時の苦勞や工夫などを調べ、それを参考にして頂きたい。

(事務局) 他の施設の指定管理において、多少実績にウェイトをおいて評価するという場合がある。ただし、そのウェイトをあまり高く評価し過ぎると新規参入がしづらくなるので、色々と委員の意見を頂戴したい。

(委員長) 他の分野の指定管理で得た知見を本委員会でも共有してほしい。

(調査と公募要綱の関係について)

(委員) スケジュール表「資料3-2」の中で今年度「調査」というものがあるが、どのように公募要項に反映されるのか。

(事務局) この後、調査結果について説明しますが、来庁者アンケート、ヒアリング、待機車両調査を既に実施している。その結果を要項の検討に生かしたい。

(委員長) 次の議題で、調査結果の説明があるようですが、場合によっては、追加の調査・分析をお願いして、第2回の委員会ではそれを元に公募要項の中身を詰めていき、年度末には決まるというスケジュール。いずれにしても、今、区庁舎等に来訪されている方々、管理している方々、あるいは現場の職員の方々の声も含めて、この先この制度をどうすればいいのかという議論を、今回と次回で行うという事でよろしいか。

(事務局) そのとおり。

(委員長) 他に特になければこれでスケジュールは、およそ理解できたということで次に移る。

(3) 有料化、指定管理による管理運営に関する課題等について「資料4」

※事務局から、「資料4」の説明

(委員長) 次回の委員会で公募要綱の骨子まで決めるとなると、この課題に関する意見を本日、多く出しておいて、それを集約して、次回、詰めるということによろしいか。

(事務局) そのとおり。

(現指定管理者へのヒアリングについて)

(委員) 実際の施設を管理している者の意見、課題、改善点等はあるか。

(事務局) 現指定管理者は「タイムズ24(株)」である。「資料4-1」の表に「主なご意見の元」という欄で、「指定管理者」と書いてある所が該当する。本日、指定管理者の意見を一枚のペーパーとしては、まとめていないが、私共が、日々指定管理者と接している中で様々な意見を伺っているもの

を踏まえて記載した。

現指定管理者の意見としては、例えば、ブロック分けは1個にまとめた方がいい、減免制度が複雑なので単純化した方がいい、あるいは、誘導員の配置を効率的にして支出を減らした方がいい、などがある。

一定のサービス水準を保つ必要があるため、指定管理者の言うことをそのまま取り入れるということではなく、バランスを保つことが大事だと思っている。

(委員) 「資料4-1」を作る前段のものとして、指定管理者からの意見をまとめたものも一枚あった方がいいと思う。

(委員) それをまとめたら「資料4-1」になるのは分かるが、前段として指定管理者側のペーパーが1枚あった方が、フェアと思う。

(委員) 適正に管理・運営するためには、実際に管理するものと一体となって実施しないとうまくいかない。

(事務局) 承知した。

(委員) 「資料3-2」で、25年度に「駐車場事業者ヒアリング」と記載があるが、これは指定管理者ヒアリングか。

(事務局) はい。今の説明は、本市が指定管理者と日々接している中で吸い上げている意見なので、改めて指定管理者からもきちんと話を聞いて、フェアにやった方がいいと思う。

(委員長) では、この「資料3-2」の「駐車場事業者ヒアリング」というところで、現在の指定管理者にヒアリングをされるということによろしいか。

(事務局) はい。ヒアリングの上、資料としてまとめ提示する。

(ブロック分けについて)

(委員) 「資料4-1」によると、色々な課題が上がっていて、例えば、減免を1時間にして欲しい、人の配置を増やして欲しい等。それを収支との関係で見ると、たぶんブロックAは市場性、採算性がない事業だと思う。ということは指定管理として現在の状態で公募に出したとしてもなかなか事業化は難しいし、人の配置や減免も指定管理者の収支だけでやると、結構厳しい。一方で、Bの方は、かなり収支的には成立していて、栄区で大きく黒字になっていることが貢献している。これはスポーツセンターが併設されていてその利用者が多くなっているためかと思う。

一方でAも、Bも全体にわたって赤字なのは機械式の所(鶴見、神奈川、磯子、緑)で、通常、機械式の駐車場はもっと台数を増やさないとペイできないはず。今回のケースでは少し空いているスペースに作っている、誰が運営してもたぶん赤字だと思う。この赤字を平面式で補

えるような事業に組立てないと指定管理者としては成り立たないと思う。その組合せということで、現状の A、B は地理的な近さを重視して前回、組合せたと思うが、結果として A は市場性がなかったのもので、次期指定管理する時は工夫しないといけないと思う。

収支の状況とそれぞれの駐車場の特性があるはずで、それぞれの区であがっている苦情は違うはずと思うが、できればそれを一覧で見せて頂きたい。市全体として、人が欲しいとか料金が高いとかの意見があるのは分かったが、個別、個別で、ニーズが違うと思うので、できれば、ブロック割りをする上で、ニーズを生かせるような、ある程度採算性が取れて人の配置ができるとか、減免時間を延ばせる、というような余地があるのかどうか判断したい。一覧表にして頂くと判断しやすい。

(委員) 「資料 4-2」や公聴の情報を見ると、16 区の中にはかなりキャラクターの違うものがある。サンプル数が減ることは心配ではあるが、どこの区で出た意見なのかと収支状況を、一覧表で見たい。全部共通の事もあれば特定の駐車場での特定の意見という事もあるかもしれない。それが、この収支の状況と関連しているかもしれないし、関連していないかもしれない。そこも含めて、ぜひ市役所、区役所毎の分析をやって頂きたい。

(事務局) 承知した。

(委員) サンプル数が減る事は、普通、研究所（データ分析をする専門機関）は心配するが、それよりもどこの駐車場で出た意見かが大事なので。

市役所、区役所毎の意見、収支状況の一覧表を作成してください。それによってブロックの分け方や組換えの議論も、もう少し具体的にできるようになる。

(事務局) 実際、機械式駐車場は、操作のための要員を置かないといけないことから収支が黒字にならず、赤字の幅も大きい。場所毎にそれぞれ特性があるので、それと収支がどうなのか、分かるような資料を用意する。

(赤字駐車場の改善の見込みと区庁舎の改修予定について)

(委員) かなり激しい赤字が出ているところがあるが、これは改善の余地はないのか。(赤字幅が) 3 千万近い所もある。施設の性質と割り切ってしまうのも 1 つの考え方だとは思いますが、本当に改善の余地がないのか

(事務局) 機械式の所は、要員を置かなければならないので人件費が大きい。

緑区は、次期 5 年の耐震工事の中で機械式をやめて立体式の自走式にする予定があるので、人件費が抑えられることになる。

南区、港南区、金沢区はこれから耐震の関係で建替えの予定がある。

例えば南区では、現在の 30 台から 130 台の自走式になるので、収支は、かなり好転する見込み。平成 27 年には整備を終える予定で 28 年からその状態で運営するので、次期指定管理者は、指定管理期間の途中で切替えが入る。それらの情報も整理して改めて伝える。

(委員) 先程の区毎の表の中で、建替えなど整備の予定、自走式になるのかどうかの状況も合わせて示してほしい。

(事務局) 承知した。

(委員) 今、人件費の話も出たが、特定の時だけ人件費が多くなるということであれば、場合によっては、特定の時だけ、区役所から人員を出して応援するという考え方はないのか。どちらが合理的かということだが。

(事務局) 通常の運営に関しては、基本は、この指定管理の中でやっていくことを考えている。現実には現場で特定の日に長蛇の列ができてしまった場合には、区役所の職員が交通整理等々臨時応援する場面が、結果として出てくることもあるが、想定としては、区役所からの応援は入れない形で考えていきたいと思っている。

(委員) 待ち時間や、コストがかかる、というような課題があって、課題をすぐに解消できないけれど、こういう方向でいくという方針を示せばいいという事。私は現場を見て、だいたい問題点がわかる。すぐには解決できなくても長期的にやっていけばいいのではないか。

(委員) 時間帯や日によって需要の大小が激しい。一番混んでいる所に合せて全部計画するか、少し少なめな所に合わせて計画するかで、かなり変わってくると思う。特にずっと安定して車が来る所は運営しやすいと思うが、そうでない所、特にスポーツセンター施設が併設されている所など、人員配置に関して工夫できる余地があるのかどうか検討して頂きたい。

(資料の集計方法について)

(委員) 「資料 4-2」は、とても良い分析だと思うが、希望としては区別で集計して欲しいのと、後は、駐車料金のあり方とか減免に対するご意見だが、回答者がどんな年代の方か、どんな目的で来たか、によって意見が多少ばらつくと思うので、その集計をして頂きたい。とても気になったのが、「資料 4-2」の 10 頁の「図 6-3」の無回答 46%はとても大きい数字。なぜこんなに無回答が多いのか、何か理由があるのかと心配。というのは車の方は 2.8%なので、なんでそんな事が起きるのか。これは無回答の部分を除くと比率が全く変わってくるので、どう解釈すればよいのか気になった。

(事務局) あくまで無回答という事で、車で来てない人が、自分に関係ないと思

って記入されなかったと思われる。

(委員) しかし記入した人もいるわけで、どんな質問をしたのかよく分からないが、質問がうまくなかったと思うのと、そうするとこの中で、例えば、「一定時間無料」の28%の人もこれは、その質問をわかって回答したという意味からすると、全体、この28%ではない。だから無回答を除いたらどのくらいの割合になるのかも同時に示しておかないと、どのくらいの方がどんな意見かというのをミスリーディングしそудし、それを足し合わせると分析も変わってくると思うので、若干の工夫をすること。

(委員) 「自由意見9-1」で、車で来た人と来てない人で、分類したのも欲しい。

(事務局) 承知した。クロス集計も出してみる。

(周辺道路の混雑緩和について)

(委員) 周辺道路の混雑はほぼ解消されたか。

(事務局) そこまでの調査は実施していないが、周辺の交通環境という意味合いでは、待ち台数をみれば駐車場による影響を見られるものと考え、今回の資料を用意した。

以前の青葉区役所の事例でいうと、スポーツセンターと公会堂が併設されているという事もあり、乳幼児健診の日は長蛇の列となっていたが、有料化したことで非常に待ち時間が減った。原因は明確で、以前はスポーツセンター利用に半日、区役所利用に半日というように駐車したが、有料化したことによって公共交通機関を利用したり、複数人で1台に乗り合いで来たり、用事が終わったら長く駐車せずにはすぐ帰るというように、非常に回転率が上がり、待ち時間が非常に短くなったと、経験の中では感じるところがある。

(委員) そのようなものが数字であると説得力ある。今回の有料化で、減免制度も設け一定の配慮をしたけれども、結果的に周辺道路への影響が減ったとか、数字で出せると、それでも(周辺道路渋滞などへの影響が以前のようになっても)無料にして欲しいんですかと、さらに言える。

(事務局) 定量的なところで「資料4-6」の青葉区でいうと、今は6, 7台しか並んでいないが、国道246号線まで並んだという事があったので、例えば、車両一台の長さを5mで、車間を空けて6mとして台数を出すことは可能。

(委員) 台数でなくて、長さでよいので、一応提示して欲しい。

(委員長) 周辺道路の混雑緩和への影響については、待ち台数等で評価することとする。

(委員) 先ほどの事務局の話の中で、相乗りしてくるようになったということが、数字であるといいと思った。アンケートに、移動手段の中に相乗りするようになったという選択肢があれば良かったと思う。今後のアンケートや「eアンケート」では、以前と比べて行動がどう変わったかという事の中に、「相乗りで来るようになった」や、「なるべくすぐ帰るようになった」などを入れ、やはり有料化によって人々の行動が変わりそれが社会的にもプラスだ、というところを見せないと、「単に金儲けしているのでは？」と、批判されてしまう。当委員会としては、そこにつながるようにしたいので、今後の分析では、ぜひ再考して下さい。

(事務局) 承知した。

(議会からの意見)

(委員) 参考までに、市議会などでどのような意見があるか。

(事務局) 今のところでは、次期指定管理に関しては説明していない段階なので、議会として特段の意見はない。ただし、一部の議員からは、駐車場管理は指定管理者制度ではなく、直営にして市がやるべきではないか、事業者に儲けさせているのではないか、という意見がある。

当局としては、政策的な目的があって実施しており、有料化前までは1億9千万円のコストをかけて管理していたのが、現在は税負担をかけずに管理しているので、少々コミュニケーションのずれがあるのかと思う。

(委員) この3年間、議会の中でどんな意見があったか、市としてどんな回答をしたのかも、データとしてあっていい。

(事務局) 承知した。

(委員) 「eアンケート」は回答者の属性が分かれば、例えばQ7で、いろいろと区毎に分けて集計できる。これも、区別で、クロス集計をかけて確認するといいと思う。

(事務局) 承知した。

(委員) 「資料4-1」の収支を見ると、数字だけみると、結局、磯子区の赤字を栄区で回収しているように感じる。区民の方からするとそういう見方もできるが、そういう意見は上がっているか。

(事務局) 個別の区の名称を名指ししての意見までは聞いていないが、数で言うと8割くらいの方が減免で、支払いしている方からの歳入で、払わない方の分も含めて全部の管理費を賄っている形であり、そのようなことに

対して、「だから不公平であるから無料に」という意見、利用者負担ではなく、以前の方式、即ち税金で全部賄うべき、という意見がある。

(委員) 機械式の駐車場は事業者からすると、あまり好まれないようだ。頻繁にメンテナンスしないと、ワイヤーが切れたり、安全性が保たれない。

(事務局) おっしゃる通り、ランニングコストも結構かかるが、改修など将来的にどうするのか頭が痛い問題だ。とは言っても限られた土地の中なので、ある程度立体的に活用せざるを得ない。本当に悩みどころ。当該駐車場で得た利用料で改修費用まで賄えればいいが、なかなか、そこまでいかない。

(委員) たとえ駅前の便利な区役所でも、障害のある方であるとか、車椅子の方とか、どうしてもある程度の駐車場が必要だとすると、敷地の狭い所で立体駐車場というのはあると思うけども、なるべくなんとか来ることができる人は、今後は、車で来庁しない方向に誘導してもらう事で、立体駐車場を今度リニューアルする時でも、少し用途とか機能とか考えなくてはならない。

(委員) 「資料4-1」で、2頁目の(2)で、「割増し、減免をどういう場合にするのか複雑」という話について、市民からの意見は。

(事務局) 市民の方から複雑という意見はない。

(委員) であれば、現状維持でもいいのでは。

(事務局) 減免に関連して市民からの意見では、区役所に高齢者を車で送って行ったとき、車寄せが各区役所に必ずあるとは限らないので、一旦、駐車場に入れて見送りをして出ると、短時間であれば無料で出庫できるが、その時間がもっと長い方がいいという意見を頂くことがある。利用する側の意見としてはもっともな意見だと捉えている。

(委員) 車寄せがある区役所もあるのか。

(事務局) 建替え予定の南区役所が完成すると車寄せができるが、他の区役所では無いところがほとんどで、送迎の車は公道上に一時停止したり、駐車場に入れて対応している。中でも、福祉系の車では乗り降りに時間がかかるので、駐車場に入れた上で10分から15分、減免してくれないか、とかという意見が、このところいくつか届いている。

(委員) 横浜市の場合、区役所の周りの道路状況が多様なので、状況によれば、道路上に駐車枠の白線を引いて、高齢者や障害の方など標章がある車は停まっていいという制度(高齢運転者等専用駐車区間制度)があるが、ああいう制度を活用してみるとか、それもできない所は、駐車場での20、30分はOKにするとか、周りの道路状況、特に高齢者、障害者の送迎の車の使い勝手によって、減免のルールを変えるのは当然やっつけよう

うと思う。

人々の区役所のアクセスの便を公平に考えるべきで、(送迎にあたり)路上でも停められる所であれば駐車場に入れる必要はないし、できない所は駐車場に入れる、高齢者、障害者の送迎・乗り降りのための時間を取ってあげられるように、駐車場利用あるいは減免のルールに濃淡をつけていいのではないかと思う。そのために区毎の道路状況を調査してほしい。

(事務局) 調べた上で、お示しする。

(委員) 「資料4-1」3頁の(5)のイの下箇所について、ブロック分けを細かくすると、市内の中小企業の参加機会が増えそうなのか。

(事務局) ブロックが1つより2つ、2つより3つという具合に参加機会が増えるという意味。

先ほどからも指摘のあるとおり、収支についてはマイナスの箇所もプラスの箇所もあり、また、現指定管理者の話では、全市1つのブロックの方がスケールメリットがあつて良いという意見もあるので、この辺りは、慎重に整理すべきだと思う。

(委員) 難しいところだ。ブロック分けは組み合わせなければならない、スケールメリットも考慮、横浜市は場所も広いから、あまり離してはいけない。

そもそも現指定管理者のような大手でなくて、コインパーキングを営業しているような中小企業は市内にあるのか。

(事務局) あるが、数えるほど多くはない。

(委員) データを区毎に、というのが議論前段の論調で、それに合わせて課題や収支も整理すべきだと思った。

(委員長) 他に特によろしければ、議事録に関しては、今日は意見交換なので、事務局でまとめて頂いて、それを私の方で確認という形でよろしいか。

その他、特になければ議事はこれで終了する。

5 その他

(1) 次回の日程の調整について

(事務局) 次回は、2月6日の9時半～11時半で同じ場所で行うか。

(委員一同) 了解した。

以上